



imc 計測データの CSV 変換手 順書

Rev.A - 2020/09/16



機械制御計測部 〒103-8284 東京都中央区八重洲 1-1-6

機械技術課 TEL:03-3279-0771 (直通:03-3245-1104) FAX:03-3246-0645

<http://www.toyo.co.jp/car/> e-mail:imc@toyo.co.jp

内容

1.	本書について	2
2.	ソフトウェア	2
3.	ハードウェア	2
4.	設定手順	2
4.1.	変換方式の設定	2
4.2.	計測データの変換	5
4.2.1.	ファイル単位での変換	5
4.2.2.	フォルダ単位での変換	6
4.3.	変換定義ファイルの編集	8

改訂履歴		
改訂日	版数	改訂内容
2020/09/16	A	初版

1.本書について

本書は、imc計測データ(拡張子 raw のファイル)を右クリックメニューから CSV 変換する方法の手順書です。

2.ソフトウェア

- imc STUDIO Version 5.2 Rev. 16
- imc FAMOS 7.5 Standard ライセンス以上
必須ではありませんが、imc FAMOS があると変換用のフォーマットを任意に定義可能です。

3.ハードウェア

- PC
imcDevices あるいは imcSTUDIO が動作するもの

4.設定手順

4.1.変換方式の設定

- 1) imc FAMOS がインストールされていない PC の場合、別途“CSV, common scaling.aet”を入手し、PC 上の任意のパスに保存します。
ファイルの入手は東陽テクニカまでお問い合わせください。
- 2) imc 計測データまたはなんらかのフォルダを右クリックすると、下図のように右クリックメニューの中に [imc Format Converter properties...]が表示されるので、これを選択します。



3) 設定はいくつかのタブに分かれています。まずは[Common]タブを設定します。

まず以下の3つは保存先の設定です、どれか1つを選択します。

- | | |
|---|---------------------------------|
| Save in default directory | 所定のパスに保存します、パス自体も指定します。 |
| Save in .%asc, .%xls or .%converted directory | 同フォルダに%asc 等のフォルダを生成し、そこに保存します。 |
| Save at the same location as source data | データと同じパスに保存します。 |

以下はオプション選択です、必要なものを任意にチェックします。

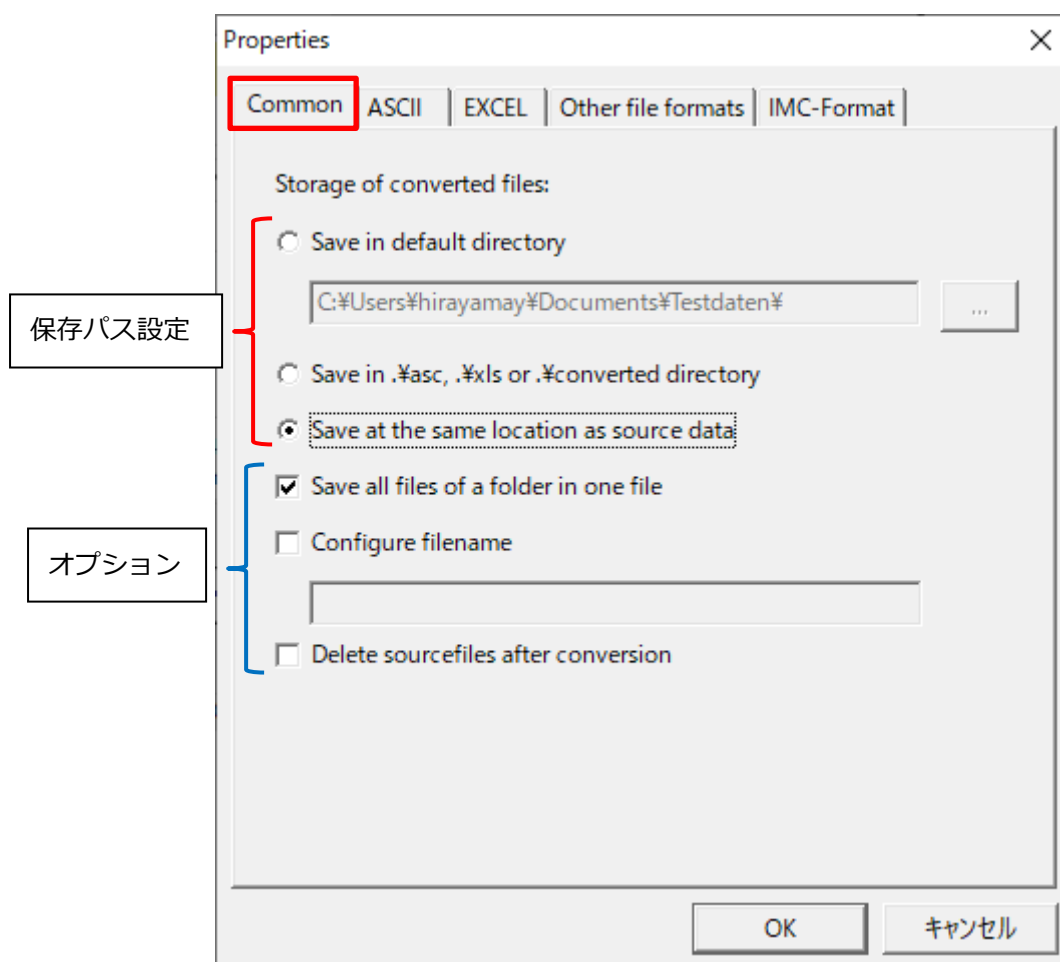
Save all files of a folder in one file フォルダ単位の変換時、1つのファイルにデータをまとめます。

(上のオプションを選択している場合のみ)

Configure filename ファイル名称として指定の名前を使用します。

このオプションを使用しない場合、フォルダ名がそのままファイル名となります。

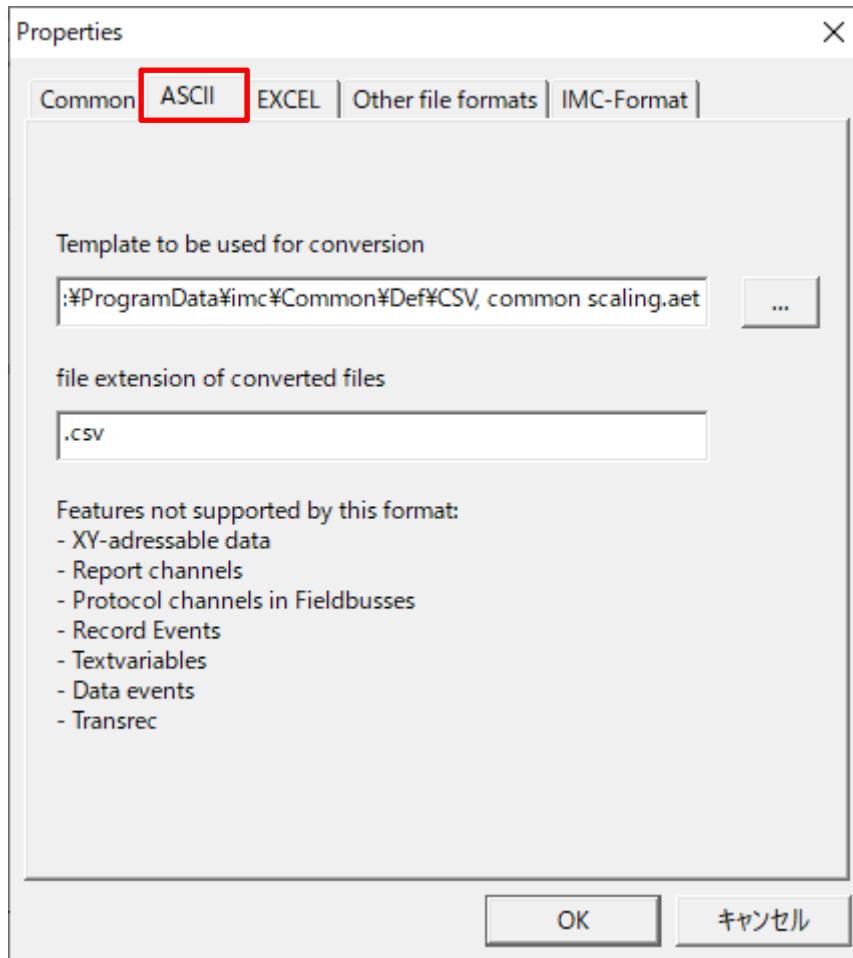
Delete sourcefiles after conversion 変換後に元データを削除します。



4) 次に[ASCII]タブを設定します。[Template to be used for conversion]で任意の変換設定ファイルを選択します。基本は、手順 1)で保存した“CSV, common scaling.aet”を選択します。

imc FAMOS がある場合、任意の設定ファイルを作成可能です。詳細は 4.3 節を参照してください。

[file extension of converted files]では、変換後の拡張子を指定します。



5) 設定後、[OK]で設定を適用します。

変換実行時の手順は 4.2 節を参照してください。

4.2.計測データの変換

ここでは、実際に計測データを変換する手順を説明します。

なお、変換後のファイル名や保存先は設定に依存するので、以後の図と実際の動作は異なる場合があります。

4.2.1.ファイル単位での変換

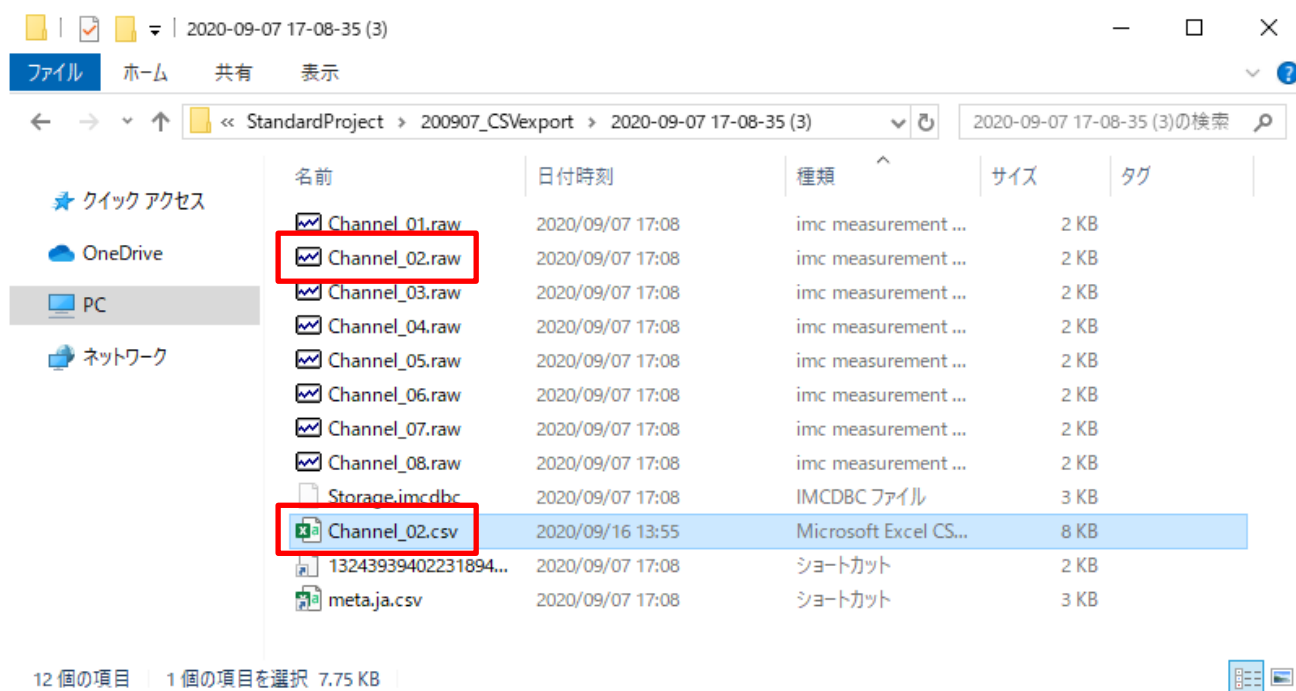
- 1) ファイルを対象として変換する場合、任意のファイルを右クリックして[Convert to ASCII]をクリックします。ファイルの場合、複数ファイルの同時変換は実行できません。複数ファイルを選択している場合、単に最後のファイルが変換されます。



- 2) 変換中は下図のようなウィンドウが表示されます、完了までそのまま待ちます。

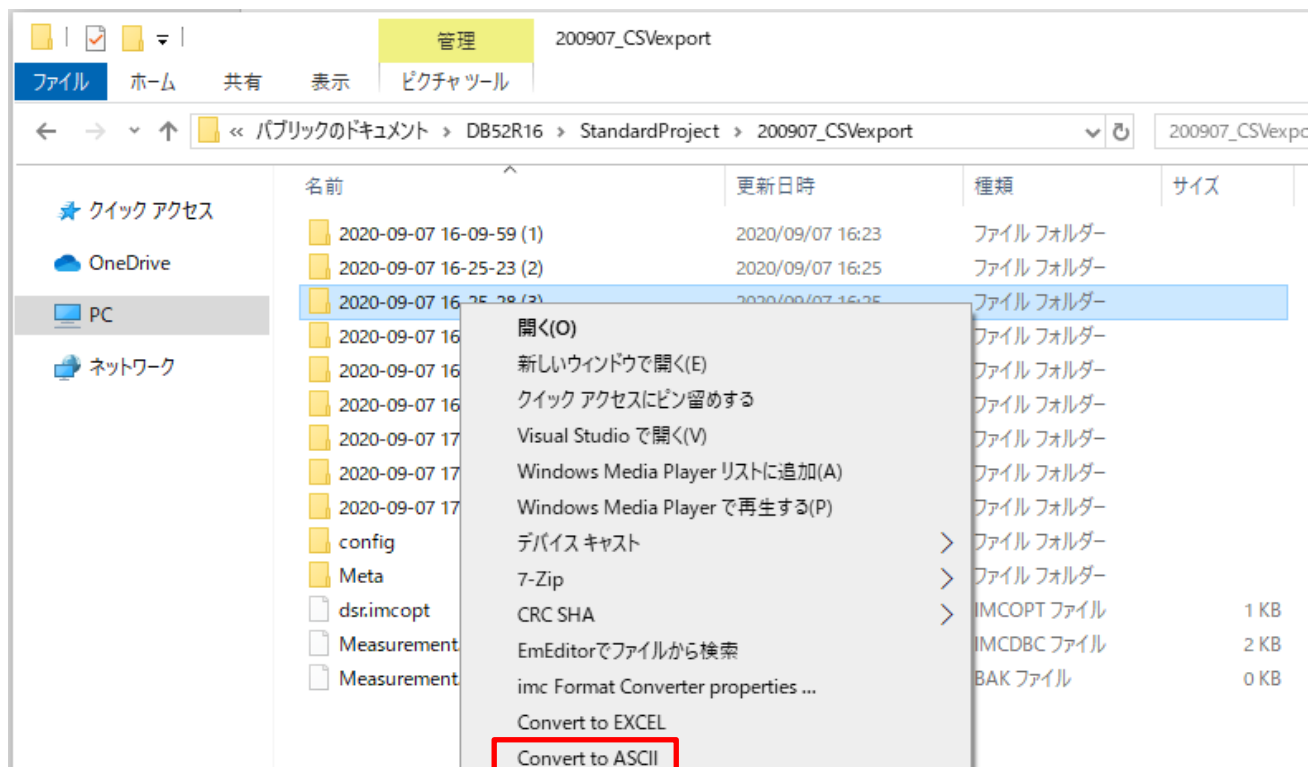


3) 選択したファイルの変換後ファイルが作成されます。名称は元データと同名です。

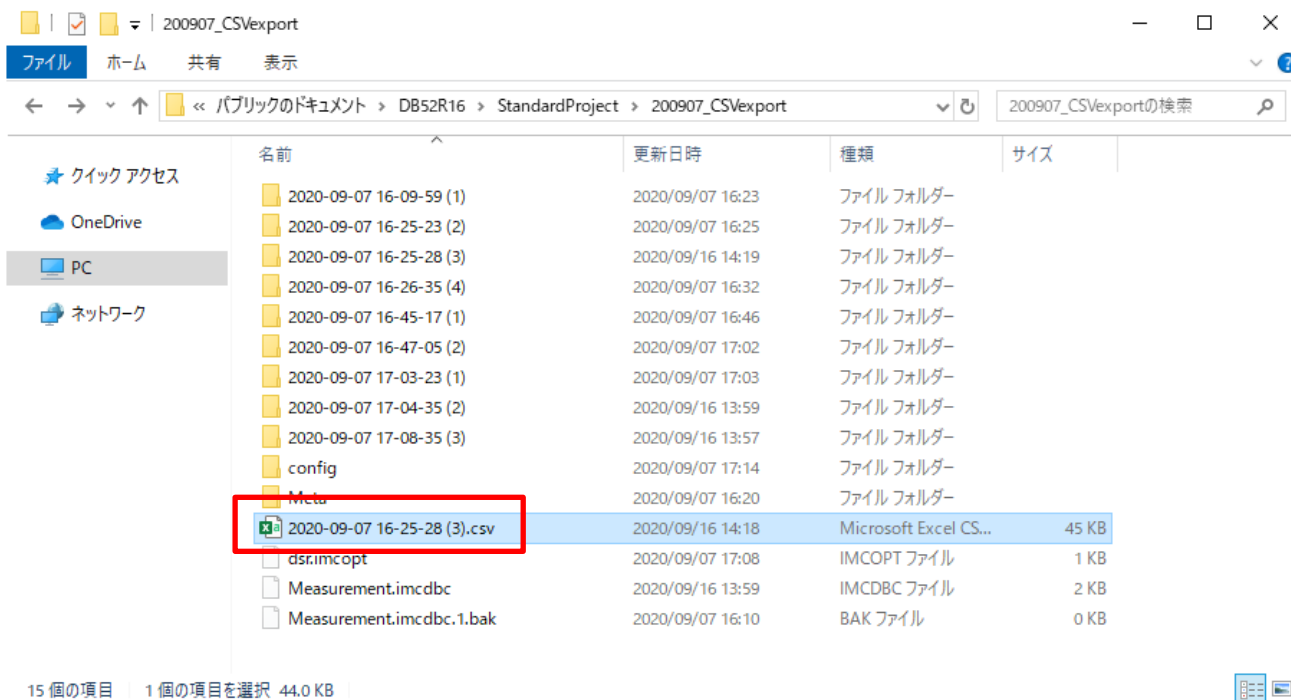


4.2.2.フォルダ単位での変換

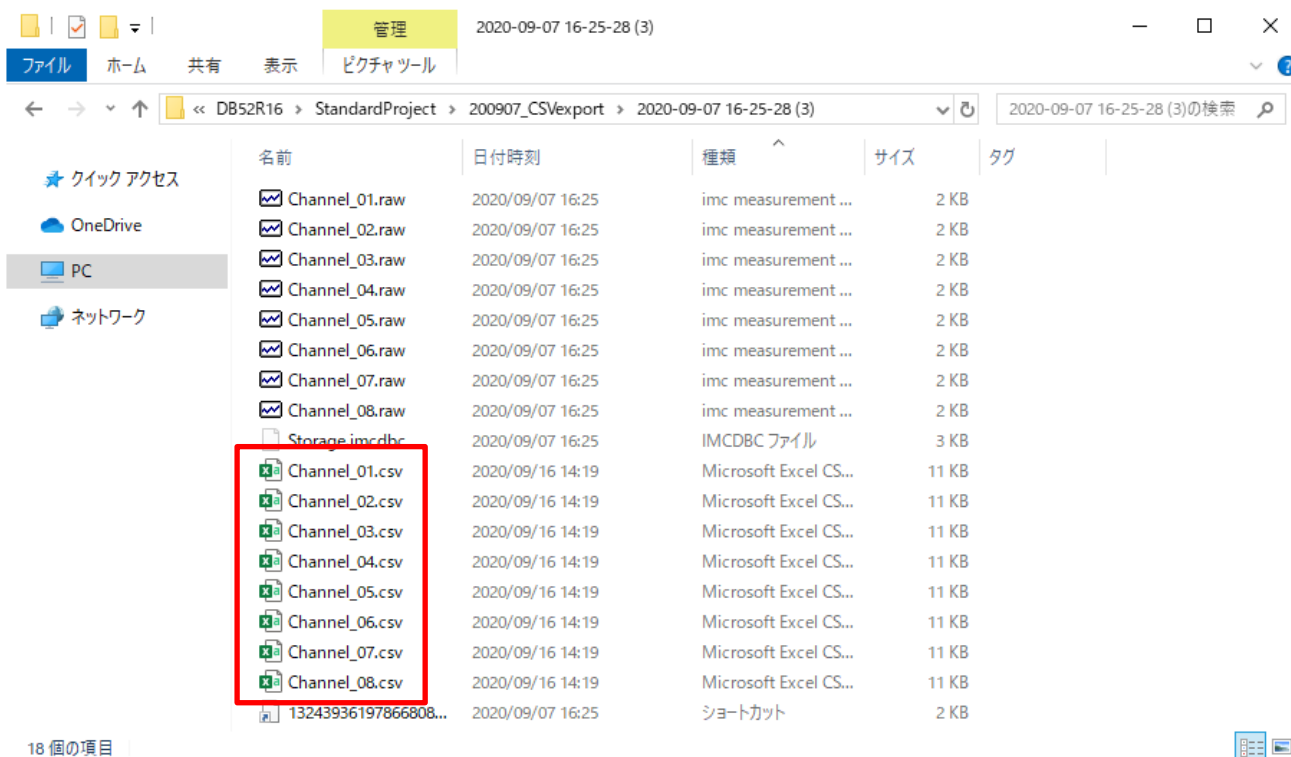
1) フォルダを対象として変換する場合、任意のフォルダを右クリックして[Convert to ASCII]をクリックします。このとき、複数のフォルダを同時に選択して対象とすることが可能です。



2) 変換後は、1 ファイルにまとめて保存する設定としていけば下図のように 1 つの変換後ファイルが生成されます。



個別に保存する設定としていけば、フォルダ内に元ファイル名と同じ名前のファイルが生成されます。



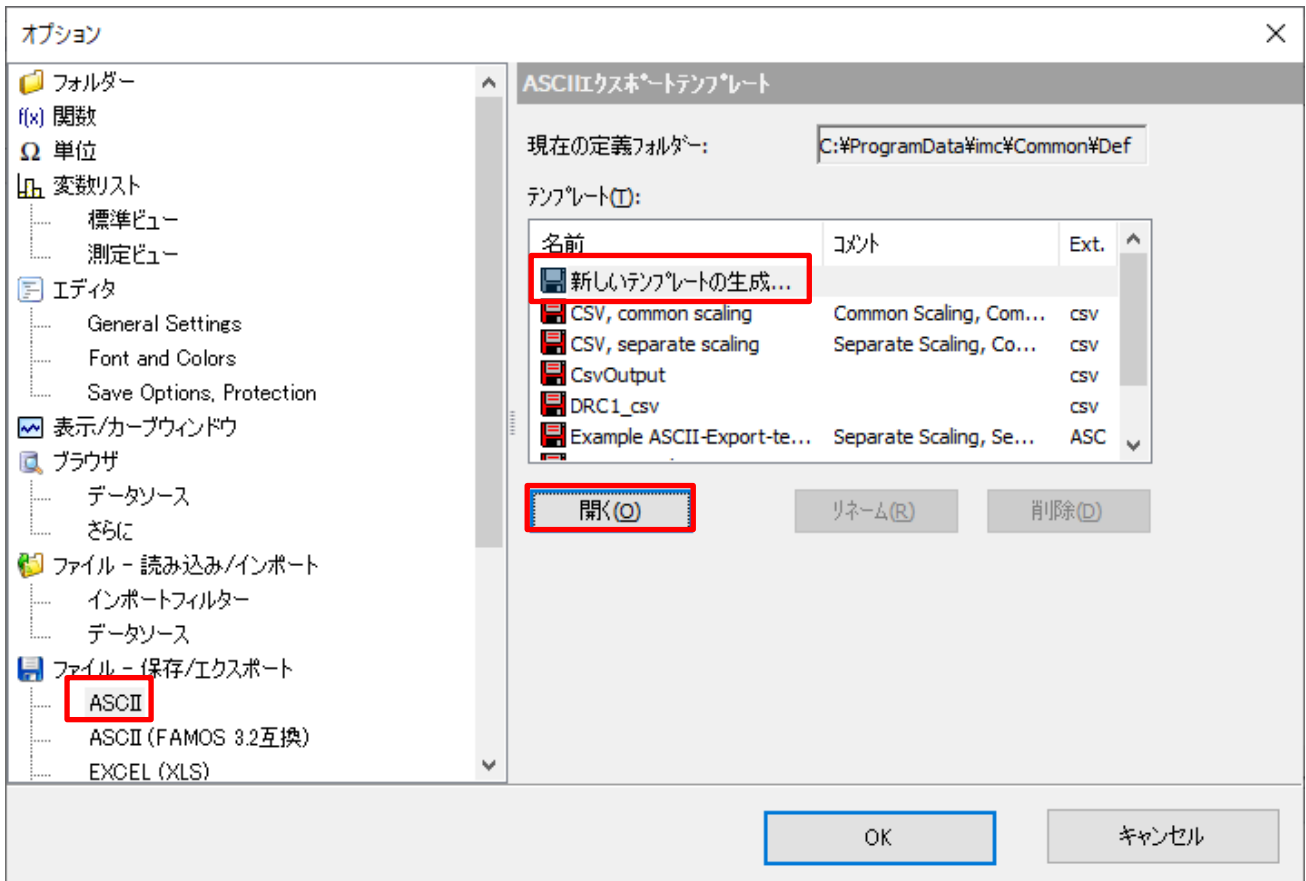
4.3.変換定義ファイルの編集

imc FAMOS がある場合、変換定義ファイルを任意に編集することが可能です。

- 1) imc FAMOS のメニューから[エクストラ > オプション]をクリックします。

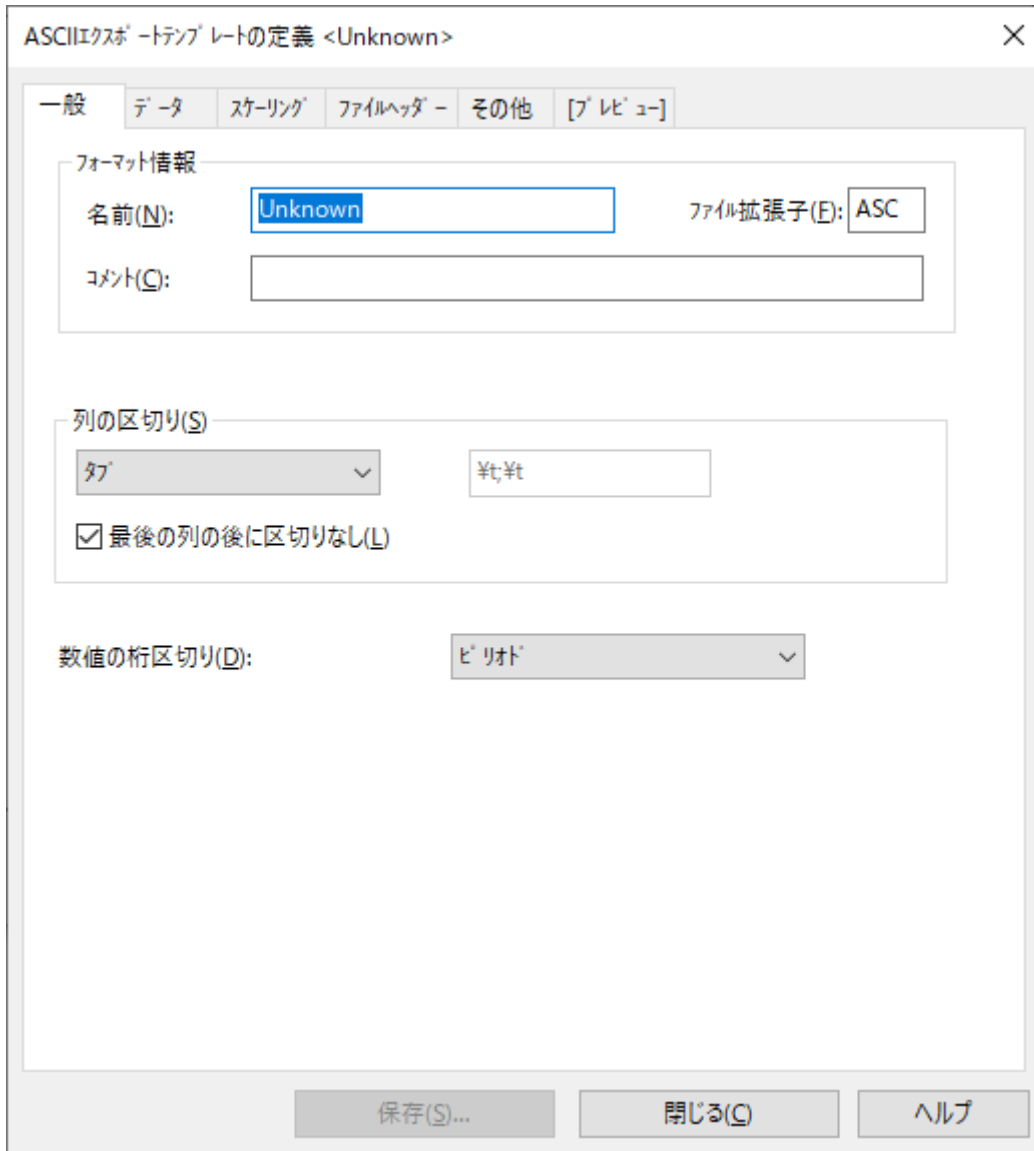


- 2) 画面左のツリーから[ファイル-保存/エクスポート > ASCII]を選択し、画面右で[新しいテンプレートの作成]を選択し[開く]をクリックします。



3) ここで任意の出力内容を定義可能です。

設定の詳細は imc FAMOS のマニュアルをご参照ください。日本語マニュアル 5.6.4 節です。



ASCIIエクスポートテンプレートの定義 <Unknown>

一般 データ スケーリング ファイルヘッダ その他 [プレビュー]

フォーマット情報

名前(N): Unknown ファイル拡張子(E): ASC

コメント(C):

列の区切り(S)

タブ 半角

最後の列の後に区切りなし(L)

数値の桁区切り(D): ピリオド

保存(S)... 閉じる(C) ヘルプ

4) 定義ファイルは C:\ProgramData\imc\Common\Def に保存されています。

ファイル名は、設定した名称.aet、となっています。